

☆1年生3学期=2年生0学期☆

いよいよ今日から1年間で最後の3学期が始まります。50日間という最も短い学期となります。この短い期間に、1年生の皆さんに期待することは2つあります。

1つめは、1年間の学習のまとめをすることです。令和3年度は、新学習指導要領になり中学校で学ぶべき内容が大きく変化した年です。1、2学期の一つ一つの授業の中で、多くの新たな知識を得たり、技能を身に付けたりすることに喜びや達成感を味わう表情が印象に残っています。また、クラスメイトとともに真剣な表情で考えたり、自分の意見を意欲的に発信したりする姿がたくさん見られました。中学校3年間で学ぶべき学習内容の基礎を身につける1年間のまとめの時期として、この3学期の50日間とはとても大切です。2年生、3年生での未来における学びにつながる学期にして欲しいと思います。

2つめは、2年生に進級する準備をすることです。4月には新入生を迎え、後輩ができます。初めての中学校生活は分からないことばかりで、下級生として先輩の背中を追うだけで精一杯だったかもしれませんが、4月以降は後輩に背中を模範を示す番です。「背中で語れる先輩」を目指し、学校生活、委員会活動、部活動、学習等々において頼れる存在であって欲しいと思います。大きく成長してくれることを期待しています。

～3学期の主な行事～

1月11日(火)	始業式
1月17日(月)～	教育相談
1月19日(水)	任命朝会
2月1日(火)	授業参観
2月14日(月)	性教育講演会
2月21日(月)、22日(火)	1・2年学年末テスト
2月25日(金)	3年生を送る会
3月7日(月)8日(火)	県立高校入試
3月10日(木)	卒業式
3月24日(木)	修了式
3月31日(木)	離任式

☆2022年は壬寅☆

2022年の干支は、「壬寅(みずのえとら)」になります。十二支や十干は数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味を持っています。例えば「壬」が持つのは第9位の他、女性のお腹に子供を宿す「妊」の一部であることから「はらむ」「生まれる」という意味です。「寅」はもともと「演」が由来といわれ「人の前に立つ」、演と同じ読みの「延(えん)」から「延ばす・成長する」という意味を持っています。

この2つの組み合わせである壬寅には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起のよさを表しているといえます。

2022年を迎えるにあたっては、寅年の「始まり」「新たに生まれる」という意味から、生徒のみなさんのますますの成長と成長のための積極的な姿勢を応援します。1年を新たな気持ちで迎えたいものです。



(ネット印刷のラクスル HP 参照)

始業式で生徒代表発表として1年4組の T.K さんが全校生徒の前で抱負を発表しました。発表の内容を掲載します。ご一読ください。

3学期の抱負

1年4組 T.K

南犬飼中に入学し、あっという間に10ヶ月が過ぎました。2学期は、新型コロナウイルスの影響でオンライン授業となってしまう、学校生活も授業も、なかなか思っていたようにはなりませんでしたが、コロナ前とは同じではありませんが、無事運動会や校外学習が実施でき、皆とたくさんの思い出を作ることができました。1、2学期は、何もかも初めての経験で、新鮮な日々を過ごし、目の前の事に必死でした。そして今、改めて1、2学期を振り返り、この3学期はどのように過ごしたら良いかを考えてみました。

まずは、学習面の強化をしたいです。今までの中間、期末テストなどは、小学校とは比べものにならないくらい範囲が広く、内容も難しくなり大変でした。そこで、3学期は今まで以上に授業中の先生の話をしっかりきくこと、予習・復習などの自主学習にも継続的に取り組むことなど、その時の自分の最大の力を発揮できるように頑張っていきたいと思えます。その中でも特に頑張りたい教科は英語です。私は単語のスペルを覚えるのが苦手で、英語が得意ではありません。他にも英語に限らず苦手はあるので、これらを少しずつ克服できるように、家庭学習の時間を増やして勉強したいと思えます。

次は生活面です。私自身のこと、そして4組の学級副委員長として、2つのことを考えました。一つめは、私も出来ないときがある「5分前入室、3分前着席の徹底」です。クラスの皆と一緒に心身共に準備をし、授業に参加できるようになりたいです。もう一つは挨拶です。私は挨拶には自信があります。クラスのみんなで先生方に元気に挨拶をして、この個性豊かな4組が、さらに明るいクラスを目指していきたいです。

4月には新入生を迎え、2年生となります。この3学期を有意義に過ごして、先輩達のような、しっかりと後輩の面倒を見ることができ、カッコイイ先輩になれるよう頑張りたいです。

